

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2007年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	古賀 裕子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
批判的読解力のためのパラグラフ・リーディング

【前もって履修しておくべき科目】
この科目を履修するために、前もって履修しておくことが必須の科目を記述してください。必須のものがない場合は、「なし」と明記してください。 元来この項目は、ここに挙げた科目の単位を未取得の学生は、当該授業科目の履修が無理であることを意味していますが、厳格な運用には、未取得学生の措置、留年生の増大の可能性、等の問題があり、この項目の運用法については教育委員会での今後の課題としています。本年度は従来通り、学生にこの科目の履修に不可欠な知識・能力を明示するための記述としてお書きください。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
上記の「履修しておくべき」程ではないが、この科目を履修するために、前もって履修しておくことが望ましい科目を記述してください。

【教科書等】
授業で配布するプリント。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

内容：

1. パラグラフ単位での、論理構成の組み立て方を理解し、書き手の主張のポイントをつかむ練習を行う。
2. 読んだ内容に関して、自分の意見をまとめ、論理的に表現する練習を行う。
3. 読む内容は、国内、世界における社会情勢、時事問題などが中心であるが、皆さんからの「こんなものを読みたい」という希望も取り入れる予定である。

進め方：

1. 授業では、一日一回は英語を使って会話するチャンスを作る。最初に簡単な会話ゲームなどを取り入れる。
2. パラグラフ・リーディングの練習。(段落ごとに論理展開法に従い、要旨をまとめる)及び、誰の視点から書かれているのか、逆の視点から見るとどうか、信憑性はあるのかなど批判的に読む。(自宅での予習)
3. 授業では自分の選んだ英文について、ディスカッションリーダーになり小グループでのディスカッションをリードする。
4. 学期の最後に授業で扱ったテーマのうち一つについて、自分の意見を英文にまとめる。その際、自分の主張(main claim)を立て、サポートする情報を集め、自分の意見をアウトライン化する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

平常点(出席、単語クイズなど)	50%
ディスカッションにおけるリーダーシップ	20%
英文エッセイ	30%

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、事前にアポイントを取ることを。

【学生へのメッセージ】

【その他】